

底井野

まちづくりだより

～みんなでつろう 明るく元気な住みよいまち 底井野校区～

編集責任者：一田 滋
 底井野校区まちづくり協議会
 ☎.Fax. 9 8 1 - 7 2 6 5
 校区人口 3,578人(-9人)
 (令和2年5月末現在)

防災特集！

近年では線状降水帯と言われる雨雲によって、短時間に猛烈な雨が降ることがあります。7月7日の大牟田・久留米の水害もこの線状降水帯によるものでした。遠賀川も数年前に豪雨により氾濫しました。常日頃から、避難ルートの確認や避難用品の準備をしておきましょう。下記の資料は筑豊地区で実際に起こった洪水の様子と、避難所へ行く時の注意点です。(資料提供：遠賀川河川事務所)

防災講演会を行いました！

底井野校区まちづくり協議会では6月20日(土)地域交流センターにて『防災講演会』を実施しました。各自治会の自主防災組織を中心に参加者は36名。講演内容は台風19号がもたらした河川災害と、遠賀川における氾濫への備えなど。遠賀川河川事務所の桑村課長に遠賀川の氾濫が実際に起こったらどうなるのかをお話し頂きました。



遠賀川の近年の洪水

平成15年7月(床上浸水約2,900戸、床下浸水約1,670戸)、平成21年7月(床上浸水約700戸、床下浸水約1,570戸)、平成22年7月(床上浸水約100戸、床下浸水約360戸)、平成24年7月(床上浸水約120戸、床下浸水約860戸)、平成29年7月と、頻繁に浸水被害が発生。



平成15年7月(飯塚バスセンター前)



平成15年7月(飯塚市街地の浸水状況)



平成24年7月(直方市感田)



避難場所へ安全に行くために！

● 水につかった道路を通るときは、こんなことに気をつけよう

◆はきものは運動靴で！

長靴は、水かさが深いと水が入って歩けなくなるので、運動靴で避難しましょう！



◆歩ける水深はヒザの高さまで！

歩ける水の深さはヒザの高さまでが限度。流れが速いと20センチの深さでも危険です。



◆かさや棒で前を確認！

水の中にある危険を、かさや棒などで確かめながら注意して進みましょう！



● 知っていますか、大雨のときは、こんな場所にも思わぬ危険が！

「エッ、こんな場所が」と思うところにも危険が！



道路横の溝などは、水の流れが早くなり危険です。



川の上流では水かさの変化が激しく、中州に取り残される場合があります。



ガケの近くは、水分をふくんだ土砂がくずれ落ちる危険があります。



水かさが増した川にかかる橋は、とても危険です。